

食品安全委員会の運営について（令和４年１０月～令和４年１２月）（案）

１．食品安全委員会の開催

１０月：８７４回・８７５回・８７６回・８７７回（４回）

（１）食品健康影響評価の要請案件（１６品目）

農薬（１１品目）	・チオベンカルブ ・チフルザミド ・ブタクロール ・酸化亜鉛 ・インピルフルキサム ・キザロホップエチル ・セトキシジム ・ピカルブトラゾクス ・ピジフルメトフェン ・ピリベンカルブ ・フルキサピロキサド
動物用医薬品（３品目）	・マルボフロキサシンを有効成分とする牛の注射剤（フォーシル） ・鶏コクシジウム感染症（アセルブリナ、テネラ、ネカトリックス、ブルネッティ、マキシマ）混合生ワクチン（エパロン） ・鶏コクシジウム感染症（アセルブリナ、テネラ、プレコックス、マキシマ、ミチス）混合生ワクチン（エバント）
遺伝子組換え食品等（２品目）	・JPAo009株を利用して生産されたグルコースオキシダーゼ ・JPAo010株を利用して生産されたポリフェノールオキシダーゼ

（２）食品健康影響評価の結果通知案件（８品目）

農薬（７品目）	・フルミオキサジン <u>ADIを0.018 mg/kg体重/日、妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対するARfDを0.03 mg/kg体重と設定し、一般の集団に対するARfDは設定する必要がないと判断。</u> ・アミスルプロム <u>ADIを0.1 mg/kg体重/日と設定し、ARfDは設定する必要がないと判断。</u> ・シメコナゾール <u>ADIを0.0085 mg/kg体重/日、一般の集団に対するARfDを0.2 mg/kg体重、妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対するARfDを0.09 mg/kg体重と設定。</u> ・メタアルデヒド <u>ADIを0.022 mg/kg体重/日、ARfDを0.3 mg/kg体重と設定。</u> ・アメトクトラジン <u>ADIを2.7 mg/kg体重/日と設定し、急性参照用量(ARfD)は設定する必要がないと判断。</u>
---------	---

	・ビフェントリン <u>ADIを0.01 mg/kg体重/日、ARfDを0.05 mg/kg体重と設定。</u> ・メフエントリフルコナゾール <u>ADIを0.035 mg/kg体重/日と設定し、ARfDは設定する必要がないと判断。</u>
飼料添加物（1品目） 食品衛生法第13条第3項の規定に基づき、人の健康を損なうおそれのないことが明らかであるものとして厚生労働大臣が定める物質（対象外物質）	・ヒスチジン <u>動物用医薬品及び飼料添加物として通常使用される限りにおいて、食品に残留することにより人の健康を損なうおそれのないことが明らかであると考えられる。</u>

（3）その他

令和3年度終了食品健康影響評価技術研究課題の事後評価結果（案）を決定。

令和4年度食品健康影響評価技術研究二次公募採択課題（案）を決定。

企業申請品目に係る食品健康影響評価の標準処理期間について（案）を決定。

11月：第878回・879回・880（3回）

（1）食品健康影響評価の要請案件（3品目）

農薬（3品目）	・グルホシネート ・ジクロロメゾチアズ ・ジメスルファゼット
---------	--

（2）食品健康影響評価の結果通知案件（4品目）

添加物（1品目）	・L-システイン塩酸塩 <u>添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はないと判断。</u>
動物用医薬品及び飼料添加物（1品目）	・アンプロリウム <u>「暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について」の3（1）に該当する成分であると判断され、現行のリスク管理の範囲で使用される限りにおいて、食品健康影響は無視できる程度と考えられる。</u>
動物用医薬品（1品目）	・セフロキシム <u>「暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について」の3（3）①に該当する成分であると判断され、現行のリスク管理の範囲で使用される限りにおいて、食品健康影響は無視できる程度と考えられる。</u>
・遺伝子組換え食品等（1品目）	・CIT-No.1株を利用して生産されたL-シトルリン <u>「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物のうち、アミノ酸等の最終産物が高度に精製された非タンパク質性添加物の安全性評価の考え方」を準用して評価を行った結果、使用形態が現行と同等である場合に限り、比較対象とした従来食品と同等の安全性が確認されたと判断したため、「遺伝子組換え食品等（微生物）の安全性評価基準」による評価は必要ないと判断。</u>

（3）その他

「食品安全委員会の運営について（令和4年7月～令和4年9月）」を報告。

「令和5年度食品安全モニターの募集について」を報告。

12月：第881回・882回、833回（3回）

（1）食品健康影響評価の要請案件（17品目）

添加物（1品目）	・亜塩素酸水
農薬（10品目）	・シフルフェナミド ・チオジカルブ及びメソミル ・プロチオコナゾール ・1,3-ジクロロプロペン ・アセタミプリド ・イソチアニル

	・イミダクロプリド ・クロチアニジン ・ジノテフラン ・チアメトキサム
農薬及び動物用医薬品（３品目）	・イミダクロプリド ・クロチアニジン ・ピペロニルブトキシド
動物用医薬品（３品目）	・ツラスロマイシン及びケトプロフェンを有効成分とする牛の注射剤（ドラクシンKP） ・プラレトリン ・クロチアニジン及び<i>d・d</i>-T80-プラレトリンを有効成分とする畜舎噴霧剤（ヌーベルショット、トリプルアクセル）

（２）食品健康影響評価の結果通知案件（７品目）

農薬及び添加物（１品目）	ジフェノコナゾール <u>ADIを0.0096 mg/kg体重/日、ARfDを0.25 mg/kg体重と設定。</u>
農薬（４品目）	・インピルフルキサム <u>ADIを0.06 mg/kg体重/日、ARfDを0.3 mg/kg体重と設定。</u> ・セトキシジム <u>ADIを0.088 mg/kg体重/日、ARfDを1.8 mg/kg体重と設定。</u> ・ピカルブトラゾクス <u>ADIを0.023 mg/kg体重/日と設定し、ARfDは設定する必要がないと判断。</u> ・フルキサピロキサド <u>ADIを0.021 mg/kg体重/日、ARfDを1.2 mg/kg体重と設定。</u>
動物用医薬品（１品目）	・オルメトプリム <u>「暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について」の３（３）①に該当する成分であると判断され、現行のリスク管理の範囲で使用される限りにおいて、食品健康影響は無視できる程度と考えられる。</u>
飼料添加物（１品目）	・<i>Corynebacterium glutamicum</i>により生産された塩酸L-ヒスチジンを有効成分とする飼料添加物 <u>飼料添加物として適切に使用される限りにおいては、食品を通じて人の健康に影響を与える可能性は無視できる程度と考えられる。</u>

（３）その他

「食品健康影響評価の結果に基づく施策の実施状況の調査結果について（第27回：令和4年9月30日時点）」を報告

2. 専門調査会等の運営（全28回）

専門調査会等名	開催回数	調査審議案件
企画等	1回	・運営計画の中間報告、自ら評価案件候補
添加物	2回	・亜硫酸ナトリウム ・次亜硫酸ナトリウム ・二酸化硫黄 ・ピロ亜硫酸カリウム ・ピロ亜硫酸ナトリウム ・ポリビニルアルコール
農薬第一	1回	・フェナミホス
農薬第二	2回	・ジフェノコナゾール ・ジメスルファゼット
農薬第三	1回	・ピジフルメトフェン ・ピリベンカルブ
農薬第四	3回	・シンナムアルデヒド（ケイ皮アルデヒド） ・キザロホップエチル
農薬第五	2回	・酸化亜鉛 ・ジクロロメゾチアズ
動物用医薬品	3回	・トリブロムサラン ・クロステボル ・シフェノトリン ・カーボジェット／ファームクリン
汚染物質等	2回	・カドミウム
微生物・ウイルス	1回	・令和元～3年度食品健康影響評価技術研究の報告 ・アニサキスのリスクプロファイル ・食品により媒介される微生物等に関する評価
遺伝子組換え食品等	4回	・遺伝子組換え食品等の安全性評価基準改正の検討について ・JPAo009株を利用して生産されたグルコースオキシダーゼ ・JPAo010株を利用して生産されたポリフェノールオキシダーゼ ・DIDK-0176株ホスホリパーゼ ・ROM株 α -アミラーゼ ・遺伝子組換え食品等の安全性評価基準改正（
肥料・飼料等	3回	・次硝酸ビスマス ・オルベシール ・エトパベート ・オルベシール ・フォーシル
薬剤耐性菌に関するワーキンググループ	3回	・アミノグリコシド系抗生物質 ・養殖水産動物 ・フォーシル

3. 意見交換会の開催等

(1) 講師派遣（全10回、うち委員4回）

開催日	開催地	講演会名	依頼者	対象者
10/19	山梨県	食品リスクコミュニケーター養成事業 「正しい情報の選択と効果的な伝達方法」	甲府市 （消費者庁経由）	食品リスク コミュニケー ター
10/25	石川県	食品安全コミュニケーター養成講座 「情報の正しい読み解き方（誤情報に迷わされない為に）」	生活協同組合連合会 コープ北陸 事業連合 （消費者庁経由）	食品安全コ ミュニケー ター
10/26	京都府	リスクコミュニケーション 「食品添加物ってなんだろう？」 食品添加物の安全性評価について ※ 川西委員	京都府	一般消費者
11/3	web	第8回「食品安全・品質保証委員会」 食品安全委員会のリスク評価の動向	コープデリ生 活協同組合連 合会	依頼団体関 係者
11/28	神奈川県	国立医薬品食品衛生研究所 特別講演会 リスク評価に基づく食中毒制御 ※ 山本委員長	国立医薬品食 品衛生研究所	研究者
12/3	愛知県	食の安全・安心フォーラム 「お肉を安全に食べるには～知って防ごう！カンピロバクター食中毒～」 カンピロバクター食中毒とリスク評価について ※ 山本委員長	名古屋市	一般消費者
12/3	三重県	三重県食の安全・安心研修会 カフェインについて考えてみよう	三重県	一般消費者
12/8	web	「健康食品」セミナー	川越市	一般消費者

		「健康食品」について ー上手につきあうためにー		
12/12	web	薬学研究科講義 「レギュラトリーサイエンス特論」 食の安全性とレギュラトリーサイエンス 食品安全委員会の取り組み ※ 浅野委員	城西大学	学生
12/19	滋賀県	立命館大学食マネジメント学部 「パブリックヘルス」に関連する授業 食品安全のリスクアナリシス	立命館大学	学生

(2) 学会講演 (全5回)

開催日	学会名	内容
10/8	日本糖尿病学会 九州地方会 ※ 脇委員	糖尿病診療におけるダイバーシティ&インクルージョンを自らの経験から考える
11/12	日本獣医師会獣医学術学会 ※ 山本委員長	リスク評価に基づく食中毒制御
11/19	日本糖尿病学会 中部地方会 ※ 脇委員	糖尿病とキャリアと私の苦楽 ～女性医療者・研究者が語る～
12/3	日本肥満学会／日本肥満症治療学会 ※ 脇委員	症例から学ぶ肥満症治療の食事療法
12/9	日本薬学会 (レギュラトリーサイエンス部会) ※ 松永委員	リスクコミュニケーションはみんなのしごと

(3) 講座 (全1回)

開催日	内容	対象者
12/8	食品安全モニターセミナー 食品に生える「かび」の基礎知識と「かび毒」の評価 講師：浅野委員 ファシリテーター：松永委員	食品安全モニター

(4) 意見交換会等 (全7回)

開催日	内容	共催団体	対象
10/7	「身近な食品のリスク ～今日から知って、考えて、行動しよう～」 食品安全の基本とカフェインの安全性について	京都府	学生
11/4	食品に関するリスクコミュニケーション 「食品中の放射性物質のこれからを考える」 @立命館大学 びわこ・くさつキャンパス (滋賀県)	消費者庁、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、立命館大学	学生
11/10	食品に関するリスクコミュニケーション 「食品中の放射性物質のこれからを考える」 @東京農業大学 世田谷キャンパス (東京都)	消費者庁、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、東京農業大学	学生
11/21	食品に生える「かび」の基礎知識と「かび毒」の評価	—	報道関係者
11/28	食品に関するリスクコミュニケーション 「食品中の放射性物質のこれからを考える」 @CIVI研修センター秋葉原 (東京都)	消費者庁、厚生労働省、農林水産省、経済産業省	一般消費者
11/29	「知って防ごう食中毒」	沖縄県	学生
12/14	食品に関するリスクコミュニケーション 「食品中の放射性物質のこれからを考える」 @新大阪丸ビル別館 (大阪府)	消費者庁、厚生労働省、農林水産省、経済産業省	一般消費者

(5) 訪問学習 (全2回)

開催日	内容	依頼者	対象
12/6	食品安全についての講義、食品安全委員会傍聴及び医系技官との情報交換	防衛医科大学校	学生
12/23	食品安全を守る仕組み及び政府組織における公衆衛生人材の役割についての講義	慶應義塾大学大学院	学生

(6) 親子イベント出展 (全2回)

開催日	イベント名	連携団体	対象

10/23	「学研キッズフェス2022秋」	消費者庁、厚生労働省、農林水産省	一般消費者
11/12、13	「Farm Love with ファーマーズ&キッズフェスタ 2022」	消費者庁、厚生労働省、農林水産省	一般消費者

4. 情報提供

(1) Facebook、ブログ

健康に被害を及ぼすおそれのある案件、国民の関心が高い案件についての機動的な情報提供。

■10月：11記事

閲覧数（Facebook）43,146人/月、（ブログ）1,893人/月

投稿日	記事内容
10/5	10/4に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
10/7	【食品安全委員会 10/3～10/7の公表事項】
10/12	10/11に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
10/14	【食品安全委員会 10/11～10/14の公表事項】
10/17	京都府との共催で、大学生を対象としたリスクコミュニケーションを開催しました（10月7日）
10/19	10/18に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
10/21	【食品安全委員会 10/17～10/21の公表事項】
10/26	10/25に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
10/28	【キッズボックス】農薬について学ぼう① 農薬が使われた食べ物と病気（2022年10月号）
10/31	【食品安全委員会 10/24～10/28の公表事項】
	【編集後記：神無月】アニサキスによる食中毒に注意！！

■11月：19記事

閲覧数（Facebook）90,326人/月、（ブログ）2,022人/月

投稿日	記事内容
-----	------

11/4	11月は薬剤耐性（AMR）対策推進月間です！（第1回）：食品安全と薬剤耐性
	【食品安全委員会 10/31～11/4の公表事項】
11/8	甲府市と消費者庁が実施するリスクコミュニケーター養成事業にて講義とグループワークを行いました（10月19日）
11/9	11/8に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
	佐藤 洋氏（元内閣府食品安全委員会委員長）が令和4年秋の叙勲を受章されました
11/11	今月は薬剤耐性（AMR）対策推進月間です！（第2回）：「薬剤耐性菌」の食品健康影響評価
	【食品安全委員会 11/7～11/11の公表事項】
11/16	コープ北陸事業連合と消費者庁が実施するリスクコミュニケーター養成事業にて講義とグループワークを行いました（10月25日）
11/17	食品添加物のセミナーでの質疑について川西委員が解説するページを公開しました
	ノロウイルスによる食中毒に注意しましょう ～動画のご紹介～
11/18	今月は薬剤耐性（AMR）対策推進月間です！（第3回：最終）：食品安全委員会と関係府省との関わり
	【食品安全委員会 11/14～11/18の公表事項】
11/21	カナダ食品検査庁副長官らが食品安全委員会を訪問しました
11/22	11/22に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
11/25	【食品安全委員会 11/21～11/25の公表事項】
	【報道関係者との意見交換会を開催しました】
11/29	【キッズボックス】冬の食中毒 ノロウイルス ー「つけない」「やっつける」で防ごうー（2022年11月号）
11/30	11/29に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
	【編集後記：霜月】今年も残すところ…

■12月：18記事

閲覧数（Facebook）64,364人/月、（ブログ）2,020人/月

投稿日	記事内容
12/1	【食品安全モニターの募集を開始しました】
12/2	【食品安全委員会 11/28～12/2の公表事項】
12/5	沖縄県との共催で、調理科の高校生を対象としたリスクコミュニケーションを開催しました（11月29日）
12/7	12/6に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
	【参加募集】令和4年度食品健康影響評価技術研究成果発表会を開催します（1/12(木) 13:30～web開催、申込締め切り12/21(水) 17:00）
12/8	そのローストビーフ、鶏ハムのレシピ、大丈夫？～ご馳走シーズンの前にお肉の安全においしく調理する方法を確認しておきましょう！～
12/9	三重県の実施する食の安全・安心研修会で、カフェインに関するリスクコミュニケーションを開催しました（12月3日）
	【食品安全委員会 12/5～12/9の公表事項】
12/12	【第2回食品安全モニターセミナーを開催しました】
12/14	12/13に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
12/16	【食品安全委員会 12/12～12/16の公表事項】
12/20	【キッズボックス】お肉を安全においしく食べよう（2022年12月号）
12/21	12/20に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
12/22	川越市のリスクコミュニケーション事業「健康食品」セミナーに参加しました（12月8日）
12/26	食品安全委員会の英文電子ジャーナル「Food Safety - The Official Journal of Food Safety Commission」Vol. 10, No. 4を公開しました。
	"Food Safety - The Official Journal of the Food Safety Commission of Japan" Volume 10, Number 4 has just been published.
12/27	【訪問学習】慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科の学生の訪問学習を実施しました。
12/28	【編集後記：師走】年末年始も安全に美味しく、そして健康に！

(2) Twitter

食中毒の防止法等、一般消費者にとって身近に関心（共感）の高いものや、タイムリーなもの、緊急性の高いものを中心に情報発信。

■10月：3記事

閲覧数 25,494件/月、フォロワー 1,480人

投稿日	記事内容
10/20	#キノコ による #食中毒 の報告が続いています！食べられるかわからないキノコは絶対に「採らない」「食べない」「人にあげない」！ https://www.fsc.go.jp/foodsafetyinfo_map/foodhazinfohub/foodhazinfohub_poll.html#3
10/28	#農薬 は農産物を虫や菌などから守り、食べものを安定的に生産するために使われます。でも、農薬が使われた食べ物を食べてがんなどの病気になることはないの？詳しくは → http://fsc.go.jp/kids-box/ #食品安全委員会
10/31	#アニサキス による #食中毒 が報告されています！予防のポイントは、魚介類はすぐに内臓を取って良く洗う、食べる前は目で見て取り除く、そして60℃で1分加熱又は-20℃以下で24時間以上冷凍。アニサキスは酢や塩、醤油、わさびでは死滅しません！詳しくは→ https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12771464543.html

■11月：5記事

閲覧数 99,972件/月、フォロワー 1,516人

投稿日	記事内容
11/17	海外と日本で使える #食品添加物 が異なるのはなぜ？日本は評価基準が緩いの？添加物を複合して摂ったときの「複合ばく露」はどう考えたらいいの？など、添加物の食品健康影響評価に関する疑問について、川西委員が解説する記事を公開しました。 https://www.fsc.go.jp/foodsafetyinfo_map/tenkabutsu_anzen.html
	#ノロウイルス の食中毒に注意が必要な季節になりました。ウイルスの特徴は？実際にどんな中毒事例が起きている？食中毒を予防する方法は？山本委員長（動画作成当時副委員長）が解説します。 https://youtube.com/playlist?list=PLlxlclYeJg_L9nqyiU2C7YV9Lj72Iumc3h
11/18	各地で #高病原性鳥インフルエンザ の感染事例が確認されています。 #食品安全委員会 は現状において、家さんの肉や卵を食べることにより、ヒトが鳥インフルエンザに感染する可能性はないと考えています。 http://fsc.go.jp/sonota/tori/tori_infl_ah7n9.html

11/29	冬に多い #ノロウイルス の食中毒。ドアやトイレから調理する人の手を介して食品にウイルスがついて、食中毒になることが多いんです。対策は、手をよく洗ってウイルスを #つけない こと。アルコールは効かないのでせっけんで洗って下さい。加熱で #やっつける も有効です。 https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12776745825.html
11/30	下の画像の中で見覚えのあるサムネイルはありますか？ #今年もあと1ヶ月 。#食品安全委員会 では今年も様々な情報を様々なツールでお届けしてきました。今年のコンテンツは今年のうちにぜひチェックしてみてください！ https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12776920680.html

■12月：7記事

閲覧数 86,301件/月、フォロワー 1,549人

投稿日	記事内容
12/1	食品安全モニターは、食品の安全確保に関する一定の知識を持つ方から、国に対して、直接ご意見をお寄せいただく制度です。特典として無料で研修を受けることができます。 ✧2023年1月25日(水)17時 ご応募、お待ちしております。 詳細はこちら→ http://fsc.go.jp/monitor/
12/8	#クリスマス や #お正月 においしい肉料理を計画中ですか？肉料理での食中毒を予防するために大事なポイントは3つ。食品安全委員会のウェブサイトと調理動画を見てから調理すれば、安全で美味しい肉料理ができるはず♪ よい #年末年始 を！ https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12778311207.html
12/16	#食品安全委員会 は設立当時から、#食品安全モニター の皆様に施策の提言や、意識調査・意見交換会への参加協力をお願いしてきました。食品安全モニターの特典は、無料で食品安全に関する研修を受けられることです。あなたも食品安全モニターになって活動してみませんか？ http://fsc.go.jp/monitor/
12/20	年末年始は#肉料理 で決まり！肉の調理は #十分な加熱 が #食中毒予防 のポイント。ハンバーグなら竹串を刺すと出てくる透明な肉汁、その他の肉料理は中心温度75℃で1分以上が目安です。アルミホイルで包むなどの余熱調理は危険！安全で美味しい年末年始を！ https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12780187111.html
12/22	#食品安全委員会 は設立当時から、#食品安全モニター の皆様に施策の提言や、意識調査・意見交換会への参加協力をお願いしてきました。食品安全モニターの特典は、無料で食品安全に関する研修を受けられることです。あなたも食品安全モニターになって活動してみませんか？ http://fsc.go.jp/monitor/
12/26	#食品安全委員会 は設立当時から、#食品安全モニター の皆様に施策の提言や、意識調査・意見交換会への参加協力をお願いしてきました。食品安全モニターの特典は、無料で食品安全に関する研修を受けられることです。あなたも食品安全

	モニターになって活動してみませんか？ http://fsc.go.jp/monitor/
12/28	今年1年 #食品安全委員会 のTwitterをご覧いただきありがとうございました！これからおいしい料理を囲んで…という機会もあるのではないかと思います。だからこそ、「#年末年始 も基本を守って安全に美味しく、そして #健康 に！」どうぞよい年末年始をお迎えください！

(3) YouTube

食品の安全性に関する科学的な知識の普及啓発や、その他食品の安全に関する情報についての動画による情報発信

(10～12月の動画合計視聴回数8,697回、チャンネル登録者数1,029人(12月末時点))

公開月日	記事内容	視聴回数 (公開日～12/31)
11/25	食品添加物のリスク評価をアップデート ー評価指針を改訂、ワイン添加物も続々評価ー	432

食品健康影響評価の審議状況

2022/12/31

区分	諮問案件						自ら評価
	要請件数 注1、2)	うち 令和4年度分	審議中 注3)	意見 募集中 注4)	評価終了 件数	うち 令和4年度分	評価終了 注5)
添加物	309	7	8		301	3	
栄養成分添加物	2				2	1	
香料	7				7		
農薬	1375	49	163	1	1211	35	
うちポジティブリスト関係	544	1	131		413	2	
うち清涼飲料水	25				25		
うち飼料中の残留農薬基準	59		16		43	1	
動物用医薬品	660	20	21	3	636	13	
うちポジティブリスト関係	138	1	11	3	124	4	
器具・容器包装	21		1		20		
汚染物質等	68		1		67		4
うち清涼飲料水	52				52		
微生物・ウイルス	21				21		2
プリオン	67		8		59		14
かび毒・自然毒	9				9		5
遺伝子組換え食品等	371	4	15	3	353	8	
新開発食品	91				91		3
肥料・飼料等	316	5	27	1	288	12	
うちポジティブリスト関係	142		22		120	8	
薬剤耐性菌	72	3	11		61		2
高濃度にジアシルグリセロールを含む食品に関するWG	1				1		
食品による窒息事故に関するWG	1				1		
放射性物質の食品健康影響に関するWG	2				2		
アレルゲンを含む食品に関するWG							1
その他(指定成分、アルミニウム等)	2				2		2
合計	3395	88	255	8	3132	72	33

- (注) 1 リスク管理機関から、評価要請後に取り下げ申請があった場合には、その分を要請件数から減じている。
 2 評価の過程で新たに審議する必要がある案件が生じた場合には、評価終了時にその案件数を要請件数に加算している。
 3 「審議中」欄には、審議継続の案件のほか、今後検討を開始するものを含む。
 4 「意見募集中」欄には、意見情報の募集を締め切った後に検討中のものも含む。
 5 自ら評価案件については、「評価終了」の欄では、複数省庁に答申したもの、答申が複数案件となったもの等について、その数を記入しているものもある。
 6 「飼料中の残留農薬基準」欄については、ポジティブリスト制度の導入に際して、飼料中の残留基準が設定された農薬についての食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件数である。
 7 「薬剤耐性菌」欄には、肥飼料・微生物合同調査会(H18.3.6～H27.8.24)で審議したものも含む。

委員会の意見の聴取に関する案件の審議状況

(2022年12月31日現在)

参考 2

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2003/12/8	農	薬剤耐性菌 飼料添加物として指定された抗菌性物質、動物用医薬品のうち、飼料添加物として指定されている抗菌性物質と同一又は同系統で薬剤耐性の交差が認められる抗菌性物質により選択される薬剤耐性菌※（水生動物に使用するスルホンアミド系合成抗菌剤、テトラサイクリン系抗生物質及びマクロライド系抗生物質。）	3
2004/10/29	農	薬剤耐性菌 チアンフェニコールを有効成分とする牛及び豚の注射剤（ネオマイゾン注射液及びバシット注射液）[耐]、アンピシリンナトリウムを有効成分とする牛の注射剤（注射用ビクシリン）[耐]	2
2005/2/14	厚	農薬 ジコホール	1
2005/8/5	農	動物用医薬品 薬剤耐性菌 スルファメトキサゾール及びトリメトプリムを有効成分とする豚の飲水添加剤（動物用シノラル液）[肥]、動物用医薬品 ホスホマイシンを有効成分とする牛の注射剤（動物用ホスミンS（静注用））[耐]	2
2005/9/13	厚	動物用医薬品 スルファメトキサゾール[肥]	1
2006/7/18	厚	動物用医薬品 スルファメトキサゾール☆[肥]	1
2006/7/18	厚	農薬 ジコホール☆	1
2006/12/19	厚	農薬 フリラゾール☆	1
2007/1/12	厚	農薬 イマゼタピルアンモニウム塩☆、ピノキサデン☆	2
2007/2/6	厚	農薬 スピロキサミン☆	1
2007/2/6	厚	動物用医薬品 アレスリン☆、クロルマジノン☆、スルフイソゾール☆	3
2007/3/6	厚	農薬 トリチコナゾール☆	1
2007/3/20	厚	動物用医薬品 スルファジメトキシ☆[肥]、スルファモメトキシ☆[肥]	2
2007/6/5	厚	農薬 メソスルフロンメチル☆、スルフェントラゾン☆	2
2007/10/2	厚	農薬 ジクロメジン<一部☆>	2
2007/12/18	厚	農薬 クロピラリド☆、イソキサジフェンエチル☆	2
2008/3/11	厚	農薬 酸化プロピレン☆、プロディファコウム	2
2008/3/25	厚	農薬 イプロバリカルブ☆、スルホスルフロン、ピリデート、フッ化スルフル	4
2008/6/3	厚	動物用医薬品 トビシリン[肥]	1
2008/7/8	厚	農薬 クロキントセットメキシル☆、クロジナホッププロパルギル☆	2
2008/7/8	厚	器具・容器包装 ビスフェノールAがヒトの健康に与える影響について ※	1
2008/9/5	厚	汚染物質 カドミウム	1
2009/2/3	厚	農薬及び動物用医薬品 ホキシム☆	2
2009/2/9	厚	農薬 エチオン☆、オキシデメトンメチル☆、ジクロラン☆、ジノカブ☆、フェンプロピモルフ☆、ベナラキシル☆、ホレート☆	7
2009/3/24	厚	農薬 パラチオンメチル☆、フェナミホス☆	2
2009/3/24	厚	農薬及び動物用医薬品 ジクロルボス及びナレド☆	2
2010/2/16	厚	対象外物質 アスタキサンチン☆[肥]、β-アポ-8'-カロチン酸エチルエステル☆[肥]、β-カロテン☆[肥]、酒石酸☆[肥]、トウガラシ色素☆[肥]、乳酸☆<農薬用途もあり>[肥]、マリーゴールド色素☆[肥]、メナジオン☆[肥]、レチノール☆[肥]	10
2010/3/1	厚	農薬 フルロキシピル☆	1
2010/5/11	厚	農薬 クロルデン☆	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2010/8/12	厚	農薬 ハロキシホップ☆	1
2010/9/13	厚	農薬 クロマゾン☆、トリクロピル☆	2
2010/9/27	厚	農薬 酸化フェンブタズ☆	1
2010/11/12	厚	農薬 イマザリル☆、ジフルフェンゾピル☆、ジメチピン☆、テルブホス☆、トリアスルフロン☆、パラチオン☆、ビンクロゾリン☆、モノクロトホス☆	8
2010/11/15	農	農薬 テルブホス〈飼〉☆	1
2010/12/10	厚	農薬及び動物用医薬品 クロルフェンビンホス☆	2
2010/12/10	厚・農	農薬及び動物用医薬品 メトプレン☆〈一部〈飼〉〉	3
2011/1/24	厚	農薬 ペンコナゾール☆	1
2011/2/10	厚	農薬 エンドスルファン☆、クロリムロンエチル☆、クロルタールジメチル☆	3
2011/3/25	厚	農薬 エタメツルフロンメチル☆、ジスルホトン☆、プロモキシニル☆	3
2011/4/19	厚	添加物 カルミン	1
2011/4/25	農	農薬 プロモキシニル☆〈飼〉	1
2011/9/22	厚	農薬 EPTC☆、アミノピラリド☆、イオドスルフロンメチル☆、2,4-DB☆、クロルスルフロン☆、シクロキシジム☆、ジフェンゾコート☆、テクナゼン☆、ニコスルフロン☆、マレイン酸ヒドラジド☆、メトスルフロンメチル☆	11
2011/10/11	厚	農薬 ジクロホップメチル☆、トリベヌロンメチル☆、ピクロラム☆、フェノキサプロップエチル☆、ブタフェナシル☆、フルオメツロン☆、アトラジン☆	7
2011/10/11	農	農薬 アトラジン☆〈飼〉	1
2011/11/18	厚	農薬 トラルコキシジム☆、フェノキシカルブ☆、プロスルフロン☆	3
2011/12/19	厚	プリオン 牛海綿状脳症（BSE）対策の見直し（オランダ）	1
2012/1/23	厚	農薬及び動物用医薬品 シハロトリン☆	2
2012/1/23	農	農薬 エチオン☆〈飼〉、ホレート☆〈飼〉、シハロトリン☆〈飼〉、ジクロルボス及びナレド☆〈飼〉	4
2012/1/23	厚	動物用医薬品 スルファジミジン☆[肥]	1
2012/3/26	厚	農薬 リムスルフロン☆	1
2012/3/26	厚	農薬及び動物用医薬品 エマメクチン安息香酸塩☆	2
2012/5/21	厚	農薬 4-クロルフェノキシ酢酸☆、トリデモルフ☆、フラムプロップメチル☆	3
2012/7/18	厚	農薬 テフルトリン☆	1
2012/8/21	厚	農薬 フサライド☆、フルスルファミド☆	2
2012/9/18	厚	農薬 メコプロップ☆	1
2013/1/22	農	農薬 クロルピリホスメチル☆〈飼〉、クロルフェンビンホス☆〈飼〉、シマジン☆〈飼〉、パラチオン☆〈飼〉	4
2013/1/30	厚	農薬 クロルピリホスメチル☆、シマジン☆	2
2013/3/12	厚	農薬 アイオキシニル☆、エテホン☆、オキサミル☆、カルフェントラゾンエチル☆、クロリダゾン☆、ターバシル☆、ピリミホスメチル☆、フルシトリネート☆、ホルクロルフェニユロン☆、メタミトロン☆、メチダチオン☆、レナシル☆	12
2013/3/12	農	農薬 ピリミホスメチル☆〈飼〉	1
2013/4/2	厚	プリオン プリオン ポーランドから輸入される牛肉及び牛の内臓について※	1
2013/6/10	農	農薬 γ-BHC☆〈飼〉、ジメトエート☆〈飼〉、メチダチオン☆〈飼〉	3

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2013/6/12	厚	農薬 アラニカルブ☆、イマザキン☆、ジウロン☆、シプロコナゾール☆、ジメトエート☆、フルキンコナゾール☆	6
2013/8/20	厚	農薬 DBEDC■<一部☆>、ノニルフェノールスルホン酸銅■<一部☆>、イマザモックスアンモニウム塩☆、ヒメキサゾール☆、メトリブジン☆、リニュロン☆	8
2013/8/20	厚	農薬及び動物用医薬品 ジヒドロストレプトマイシン及びストレプトマイシン☆[肥]	2
2014/9/9	厚	農薬 ピラゾリネート☆	1
2015/1/8	厚	プリオン スウェーデンから輸入される牛肉及び牛の内臓 ※	1
2015/5/14	厚	プリオン スイス及びリヒテンシュタインから輸入される牛肉及び牛の内臓※	1
2015/9/30	厚	プリオン イタリアから輸入される牛肉及び牛の内臓※	1
2015/12/18	厚	プリオン 牛海綿状脳症（BSE）国内対策の見直し※	1
2017/4/19	厚	農薬 ピレトリン☆	1
2017/8/3	厚	プリオン 英国から輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓 ※	1
2017/11/30	厚	遺伝子組換え食品等 ミラクリン発現トマト（TU-IPI05B-1）（食品）■	1
2017/12/19	農	遺伝子組換え食品等 ミラクリン発現トマト（TU-IPI05B-1）（飼料）■	1
2018/7/4	農	動物用医薬品 バルネムリン塩酸塩を有効成分とする豚の飼料添加剤（エコノア1%プレミックス及び同10%プレミックス）■[耐]	1
2019/2/27	農	動物用医薬品 アモキシシリン水和物を有効成分とする牛及び豚の注射剤（アモスタックLA注）■[耐]	1
2019/10/24	厚	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性サトウキビ CTC175-A■、CA02-1191株を利用して生産されたL-グルタミン酸ナトリウム■	2
2020/2/13	厚	動物用医薬品 ジニトルミド ☆[肥]	1
2020/3/17	厚	動物用医薬品 ジブチルサクシネート☆、ノルジェストメット☆	2
2020/3/17	厚	飼料添加物 スルファクロルピリダジン☆、スルファジアジン☆、スルファドキシム☆、スルファモイルダプソン☆、エトパベート☆、スルファキノキサリン☆	6
2020/5/13	厚	プリオン 「ドイツから輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓」※	1
2020/9/24	厚	Ra α 3114株を利用して生産されたプロテアーゼ■	1
2020/10/16	農	遺伝子組換え食品等 長鎖多価不飽和脂肪酸含有及びイミダゾリノン系除草剤耐性セイヨウナタネLBFLFK（飼料）■	1
2021/2/4	厚	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP23211）（飼料）■	1
2021/5/14	農	遺伝子組換え食品等 DHA産生及び除草剤グルホシネート耐性キャノーラ（NS-B50027-4）（飼料）■	1
2021/5/17	厚	遺伝子組換え食品等 DHA産生及び除草剤グルホシネート耐性キャノーラ（NS-B50027-4）（食品）■	1
2021/11/5	厚	遺伝子組換え食品等 DIDK-0176株を利用して生産されたホスホリパーゼ■	1
2021/12/8	厚	農薬 1,4-ジメチルナフタレン■	1
2022/3/23	厚	農薬 ヨウ化メチル■	1
2022/3/15	農	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP915635）（飼料）■	1
2022/3/16	厚	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP915635）（食品）■	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2022/4/21	厚	農薬及び動物用医薬品 シペルメトリン■	1
2022/5/20	厚	遺伝子組換え食品等 ROM株を利用して生産された α -アミラーゼ■	1
2022/6/15	農	薬剤耐性菌 アミノグリコシド系抗生物質が動物用医薬品として家畜に投与された場合に選択される薬剤耐性菌	1
2022/6/22	厚	添加物 ポリビニルアルコール■	1
2022/7/13	厚	農薬 プロチオホス■	1
2022/7/13	厚	動物用医薬品 シフェノトリン■、d・d-T-シフェノトリンを有効成分とする豚舎噴霧剤（カーボジェット、ファームクリン）■	2
2022/8/23	厚	添加物 亜硫酸ナトリウム■、次亜硫酸ナトリウム■、二酸化硫黄■、ピロ亜硫酸カリウム■、ピロ亜硫酸ナトリウム■	5
2022/8/24	厚	動物用医薬品 次硝酸ビスマス■	1
2022/8/24	厚	農薬及び飼料添加物 シンナムアルデヒド（ケイ皮アルデヒド）（対象外物質）■	2
2022/8/24	厚	農薬 イミシアホス■	1
2022/8/24	農	動物用医薬品 次硝酸ビスマスを有効成分とする牛の乳房注入剤（オルベシール）■	1
2022/9/28	農	農薬 チオベンカルブ※、チフルザミド※、ブタクロール※	3
2022/9/27	厚	遺伝子組換え食品等 JPAo009株を利用して生産されたグルコースオキシダーゼ■、JPAo010株を利用して生産されたポリフェノールオキシダーゼ■	2
2022/10/5	農	動物用医薬品 マルボフロキサシンを有効成分とする牛の注射剤（フォーシル）■[肥][耐]	2
2022/10/19	厚	農薬 酸化亜鉛■、キザロホップエチル■、ピジフルメトフェン■、ピリベンカルブ■	4
2022/11/24	厚	農薬 グルホシネート■、ジクロロメゾチアズ■、ジメスルファゼット■	3
2022/12/1	厚	添加物 亜塩素酸水■	1
2022/12/7	農	動物用医薬品 ツラスロマイシン及びケトプロフェンを有効成分とする牛の注射剤（ドラクシンKP）■[動][肥][耐]	3
2022/12/14	厚	農薬 シフルフェナミド■、チオジカルブ及びメソミル■、プロチオコナゾール■	3
2022/12/14	厚	農薬及び動物用医薬品 イミダクロプリド■、クロチアニジン■、ピペロニルブトキシド■	6
2022/12/14	厚	動物用医薬品 プラレトリン■	1
2022/12/14	農	農薬 1,3-ジクロロプロペン※、アセタミプリド※、イソチアニル※、イミダクロプリド※、クロチアニジン※、ジノテフラン※、チアメトキサム※	7

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2022/12/14	農	動物用医薬品 クロチアニジンとd・d-T80-プラレトリンを有効成分とする畜舎噴霧剤（ヌーベルショット、トリプルアクセル）■	1

（注）

☆印は、ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件である。

※印は、食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件である。

■印は、企業申請案件である（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）。

◎印は、食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価である。

[肥]印は、肥料・飼料等専門調査会が担当する評価案件である。

[耐]印は、薬剤耐性菌に関する評価が必要なもの。

Ⅱ 専門調査会における審議結果（案）について意見募集を行っているもの

募集期間	対象となる審議結果（案）	
2022/10/26～2022/11/24	動物用医薬品 ヒドロコルチゾン☆★	1
2022/11/24～2022/12/23	肥料・飼料等 ギ酸■	1
2022/11/24～2022/12/23	農薬 ジメトモルフ■★	1
2022/11/30～2022/12/29	遺伝子組換え食品等 長鎖多価不飽和脂肪酸含有及びイミダゾリノン系除草剤耐性セイヨウナタネLBFLFK（食品）■★	1
2022/12/7～2023/1/5	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP23211）（食品）■、JPBL013株を利用して生産された α -アミラーゼ■	2
2022/12/14～2023/1/12	動物用医薬品 クロステボル☆、トリブロムサラン☆	2

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和４年度）

通知日	通知先	食 品 健 康 影 響 評 価 の 対 象	
2022/4/13	厚	肥料・飼料等 ジアベリジン☆	1
2022/4/27	厚	遺伝子組換え食品等 JPAN004株を利用して生産された α -アミラーゼ■、JPBL007株を利用して生産された α -アミラーゼ■	2
2022/5/10	厚	農薬 アセキノシル■、トリネキサパックエチル■、ピラジフルミド■、トリフロキシストロビン■	4
2022/5/18	厚	肥料・飼料等 クエン酸（対象外物質）☆	1
2022/5/18	厚	栄養成分添加物 25-ヒドロキシコレカルシフェロール■	1
2022/5/18	厚	農薬 ピリダリル■、ホスチアゼート■	2
2022/5/26	厚	農薬 ゾキサミド■	1
2022/5/26	厚	動物用医薬品 チオプロニン☆	1
2022/5/26	農	肥料・飼料等 アンピシリンナトリウムを有効成分とする牛の注射剤（注射用ビクシリン）【再審査】■、エンラマイシン☆	2
2022/5/31	厚	農薬 イソピラザム■、フルジオキシニル■	2
2022/6/1	厚	動物用医薬品 スルファチアゾール■	1
2022/6/1	農	遺伝子組換え食品等 Komagataella phaffii BSY0007株を利用して生産されたフィターゼ■	1
2022/6/8	厚	農薬 くん液蒸留酢酸（対象外物質）■	1
2022/6/16	厚	遺伝子組換え食品等 線虫抵抗性及び4-ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ阻害型除草剤耐性ダイズGMB151（食品）■、線虫抵抗性及び4-ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ阻害型除草剤耐性ダイズGMB151（飼料）■、JPBL012株を利用して生産されたプロテアーゼ■	3
2022/6/28	厚	農薬 イソフェタミド■、クロルフルアズロン■、パラコート☆〈飼〉	4
2022/6/30	農	動物用医薬品 オメプラゾールを有効成分とする馬の強制経口投与剤（ガストログード）■	1
2022/7/13	厚	農薬 ビリフロキシフェン■、フルピラジフロロン■、メトキシフェノジド■	3
2022/7/20	厚	農薬 フルトラニル■	1
2022/7/19	厚	肥料・飼料等 ジクロキサシリン☆	1
2022/7/26	厚	動物用医薬品 モサプリド■	1
2022/8/2	農	動物用医薬品 豚繁殖・呼吸障害症候群生ワクチン（ユニストレインPRRS-10、同50、同501D）■、鶏大腸菌症生ワクチン（ガルエヌテクトCBL）■、鶏伝染性気管支炎生ワクチン（ガルエヌテクトS95-1B）■	3
2022/8/9	厚	添加物 硫酸銅ー	1
2022/8/9	厚	農薬 メトプロムロン■	1
2022/8/9	厚	農薬及び動物用医薬品 イソプロチオラン■	1
2022/8/30	農	肥料・飼料等 25-ヒドロキシコレカルシフェロール■	1
2022/8/30	厚	遺伝子組換え食品等 Bacillus subtilis NTI05（pHYT2Aopt）株を利用して生産されたシクロデキストリングルカノトランスフェラーゼ■	1
2022/8/31	厚	農薬 ジェトフェンカルブ■、バリダマイシン■、ピリダクロメチル■	3
2022/9/6	厚	添加物 フィチン酸カルシウムー	1

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和４年度）

通知日	通知先	食 品 健 康 影 響 評 価 の 対 象	
2022/9/6	農	動物用医薬品 クエン酸モサプリドを有効成分とする牛の強制経口投与剤（牛用プロナミド散２％）■、牛ウイルス性下痢ウイルス（Npro及びErns遺伝子欠損１型・２型）生ワクチン（ボベラ）■	2
2022/9/20	厚	動物用医薬品 ジミナゼン☆、イソシンコメロン酸ニプロピル☆、マホブラジン☆	3
2022/9/20	厚	肥料・飼料等 ピリメタミン☆	1
2022/10/12	厚	農薬 フルミオキサジン■、アミスルブロム■、シメコナゾール■、メタルデヒド■	4
2022/10/26	厚	農薬 アメトクトラジン■、ビフェントリン■、メフェントリフルコナゾール■	3
2022/10/25	農	動物用医薬品 鶏コクシジウム感染症（アセルブリナ、テネラ、ネカトリックス、ブルネッティ、マキシマ）混合生ワクチン（エバロン）■、鶏コクシジウム感染症（アセルブリナ、テネラ、プレコックス、マキシマ、ミチス）混合生ワクチン（エバント）■	2
2022/11/8	厚	肥料・飼料等 アンプロリウム☆、セフロキシム☆	2
2022/11/8	厚	遺伝子組換え食品等 CIT-No. 1株を利用して生産されたL-シトルリン■	1
2022/11/9	厚	添加物 L-システイン塩酸塩■	1
2022/12/6	厚	肥料・飼料等 オルメトプリム☆、Corynebacterium glutamicumにより生産された塩酸L-ヒスチジンを有効成分とする飼料添加物■	2
2022/12/14	厚	農薬 ジフェノコナゾール■、インピルフルキサム■、セトキシジム■、ピカルブトラゾクス■、フルキサピロキサド■	5

（注）

☆印は、ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第２４条第２項に基づく意見聴取案件である。

※印は、食品安全基本法第２４条第３項に基づく意見聴取案件である。

■印は、企業申請案件である（平成２２年１月１日以降委員会において説明したもののみ）。

◎印は、食品安全基本法第２３条第１項第２号による自ら評価である。

[肥]印は、肥料・飼料等専門調査会が担当する評価案件である。

[耐]印は、薬剤耐性菌に関する評価が必要なもの。

Ⅳ その他

通知日	通知先	件名
2004/1/30	厚・農・環	遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準 遺伝子組換え植物の掛け合わせについての安全性評価の考え方
2004/3/18	農	普通肥料の公定規格に関する食品健康影響評価の考え方
2004/3/25	厚・農・環	遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準
2004/5/6	厚・農・環	遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方
2004/8/5	厚・農	特定保健用食品の安全性評価に関する基本的考え方
2004/9/30	農	家畜等への抗菌性物質の使用により選択される薬剤耐性菌の食品健康影響に関する評価指針
2005/4/28	厚・農・環	遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物のうち、アミノ酸等の最終産物が高度に精製された非タンパク質性添加物の安全性評価の考え方
2006/6/29	厚・農	暫定基準が設定された農薬等の食品健康影響評価の実施手順
2007/9/13	厚・農	食品により媒介される微生物に関する食品健康影響評価指針（暫定版）
2008/6/26	厚・農・環	遺伝子組換え食品（微生物）の安全性評価基準
2010/5/27	厚	添加物に関する食品健康影響評価指針
2016/5/17	厚	香料に関する食品健康影響評価指針
2017/7/18	厚	添加物に関する食品健康影響評価指針（改正） 栄養成分関連添加物に関する食品健康影響評価指針 添加物（酵素）に関する食品健康影響評価指針
2018/4/10	厚・農	動物用医薬品に関する食品健康影響評価指針
2018/9/25	厚・農	飼料添加物に関する食品健康影響評価指針 動物用医薬品に関する食品健康影響評価指針（改訂）
2019/5/28	厚	食品用器具及び容器包装に関する食品健康影響評価指針
2019/10/1	厚・農	残留農薬に関する食品健康影響評価指針
2019/10/29	厚・農	食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の活用に関する指針
2019/11/13	厚・農	遺伝子組換え植物の掛け合わせについての安全性評価の考え方
2020/3/24	厚・農	食品安全委員会専門調査会等運営規定 改正
2020/6/16	厚・農	残留農薬の食品健康影響評価におけるコリンエステラーゼ阻害作用を有する農薬の取扱いについて
2020/7/7	厚・農	暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について
2020/10/6	厚	食品用器具及び容器包装に関する食品健康影響評価指針（改訂）
2021/4/6	厚・農	残留農薬に関する食品健康影響評価指針（改訂）
2021/5/18	厚・農	飼料添加物に関する食品健康影響評価指針
2021/9/29	厚	添加物に関する食品健康影響評価指針（改正） 香料に関する食品健康影響評価指針（改正） 添加物（酵素）に関する食品健康影響評価指針（改正） 栄養成分関連添加物に関する食品健康影響評価指針（改正）
2022/3/22	農	家畜等への抗菌性物質の使用により選択される薬剤耐性菌の食品健康影響に関する評価指針の一部改正 食品を介してヒトの健康に影響を及ぼす細菌に対する抗菌性物質の重要度のランク付けについての一部改正
2022/6/21	厚・農	食品により媒介される微生物等に関する食品健康影響評価指針（改正）